

【結果概要】 準天頂衛星利活用サブワーキンググループ

○冒頭、本サブワーキンググループの事務局を務める経済産業省、内閣府及び総務省の幹部より挨拶が行われた。また本サブワーキンググループの座長として、柴崎東京大学教授が提案され、満場一致にて、承認された。

○経済産業省宇宙産業室より、資料1に沿って、本サブワーキンググループの目的とアウトプット等について説明、了承された。

○続いて、国のインフラとしての準天頂衛星システムの機能及びサービスについて内閣府宇宙開発戦略推進事務局より、資料2「準天頂衛星の開発状況と利用を巡る状況について」に沿って説明。準天頂衛星システム全体計画に関する質疑応答が行われた。

○準天頂衛星システムサービス（株）より、資料3に沿って、主に日本国内向けの準天頂衛星システムのサービスについて説明。受信機の国内市場導入動向等に関して、質疑応答が行われた。

○グローバル測位サービス（株）より、資料4に沿って、アジア・太平洋地域向けの準天頂衛星システムのサービスについて説明。海外配信サービスに関するスペックや受信機の海外対応等について質疑応答が行われた。

○出席委員からは、各業界団体での準天頂衛星システムの利用を検討するあたり、今後のスケジュールも含む分かりやすいサービス内容、各種課題、受信機の開発状況等の提供の必要性が示され、次回の本サブワーキンググループにて、事務局から提示することになった。